

# 環境マネジメントシステム

「中長期環境ビジョン」では環境調和型経営の確立のために、グループ全体の環境マネジメントシステム構築とカンパニーの環境経営度向上をめざしています。今後は、関係会社のISO14001認証取得に取り組むとともに、各カンパニーへの環境経営度評価を進めていきます。また、従業員一人ひとりの環境保全に対する意識と知識を向上させるため、環境教育を充実し継続していきます。

## ISO認証取得活動

2001年度は車両カンパニー・兵庫工場と航空宇宙カンパニー・岐阜工場(含:名古屋第一・第二工場)がISO14001認証を取得しました。これで全工場におけるISO14001の認証取得にめどが付き、全社的な環境マネジメントシステム(EMS)の基盤が構築できました。

今後は、本社・支社・営業所、関係会社などへのEMSの構築を拡大し、将来的には海外事業所、現地法人 までも含めたEMSの構築を視野に入れていきます。

イギリスのプリマス工場 Kawasaki Precision Machinery(UK)Ltd.では、2001年11月にISO14001の認証を取得しました。

## 環境監査

中長期環境ビジョンでは、グループ全体での環境マネジメントシステムの展開をめざしており、環境経営度向上に向けた各カンパニーの環境マネジメントシステムの継続的改善を図っていきます。

環境マネジメントシステムを改善する上で必要な「環境監査」は、地球環境室が全カンパニーに対して実施する「環境経営ヒアリング」と、各々のカンパニーが実施する内部環境監査、第三者機関によるISO14001審査の3種類があり、内部環境監査では、社内で認定を受けた内部環境監査員が環境マネジメントシステムの計画に基づいて客観的な評価を行っています。

「環境経営ヒアリング」は、カンパニー制の導入に伴い、従来の社内環境監査に代わる制度として2001年度より実施。各カンパニーの「環境保全活動計画」の実行状況や客観的な環境パフォーマンスデータなどから環境経営度を評価し、必要に応じて実地確認も行います。3段階の

環境監査を導入することで、客観的な評価と改善点の適正な把握を行っています。



環境経営ヒアリングの実施風景



## 環境教育

当社では従業員一人ひとりが中長期環境ビジョンの目的である「環境調和型経営」の理念を理解し、環境に対する意識を高めるために、今後、環境教育内容の充実を図っていきます。

現在は、各カンパニーにおいて環境マネジメントシステムの中で体系化したプログラムを実施しており、全従業員に対し「年間教育計画」に沿って環境一般教育、環境特別教育・訓練を展開しています。同時に環境保全に関する専門知識や資格を持った人材の育成にも努めています。

一方、全社では「内部環境監査研修」を定期的に関催し、内部環境監査員の養成を行っています。2001年度は6回の研修で137名を内部環境監査員として認定し、1996年～2001年度の累計は933名に達しています。

今後は関係会社からも多くの人が「内部環境監査研修」に参加できるよう、取り組みを進めていきます。

〔公害防止管理者資格者数〕

大気	100名
水質	98名
騒音	44名
振動	29名
ダイオキシン	3名
その他(粉じん・主任管理者)	23名
合計	297名

〔エネルギー管理士資格者数〕

熱	22名
電気	24名
合計	46名